

地域PR動画コンペティションで優秀賞

2019年12月に募集があった「第3回高校生・大学生の「地域PR動画」コンペティション」に、メディアアート部も動画作品「人と人がつながる場所」でエントリーしました。インターネット上での1次審査を経て、最終審査会（2020年2月15日 キャンパスプラザ京都）に出場、審査の結果、優秀賞を受賞しました。

今年度は本格的な活動1年目にもかかわらず写真分野での活躍が目立ったメディアアート部ですが、写真部との合併前の放送部時代には全国大会出場経験もある動画制作でも順調に力をつけています。今年度から写真制作と動画制作が合併してメディアアート部となったおかげで、部員や機材のやり取りができるようになりました。今回の動画作品でも、普段は写真作品の制作をしている生徒が撮影に参加したり、その機材を使っての動画撮影などを行ったりしています。これによって、動画制作のレベルも1つ上がったと言えるでしょう。

今回のコンペティションに出展したのは、1年ほど取材を続けてきたAwajishima Sodatete Marketを題材とした作品です。このマーケットは「いろんな人と、いろんなコトを、いっしょに育てていくマーケット」をコンセプトとしており、生徒たちはまさにそのコンセプト通りに、取材だけでなく、会場設営などのスタッフとしても参加させてもらいました。完成した動画作品では、地域（淡路島）の魅力を「場所やモノではなく人である」と捉え、人の優しさや温かさ、人同士のつながりを表現しています。こうした思いが審査員の先生や見てくださった人たちに伝わったのでしょうか。一次審査を通過し、最終審査会に出場となり、そこでのプレゼンテーションを経て、優秀賞の受賞となりました。

また、このマーケットを通して知り合った「Neki 額縁と珈琲」様には、部員たちの写真作品の額装をお願いしました。その他、マーケット主催のやまぐちくにご様からのつながりで、映画『なんのちゃんの第二次世界大戦』の制作にも僅かばかりですが参加させていただきました。これからも淡路高校メディアアート部は地域の皆様と一緒に活動していく部活動でありたいと思います。



高校生・大学生の「地域PR動画」コンペティションとは……

龍谷大学社会学部が主催する、地域の魅力を伝える動画のコンテスト。「全国の高等学校（中等教育学校後期課程を含む）、大学（短期大学を含む）の生徒・学生からなる個人またはグループ」に出場資格があり、今回は第3回目の開催となる。本校メディアアート部は今年度が初エントリー。